



2023年8月29日

株式会社大創産業  
学校法人瓜生山学園 京都芸術大学

## 大創産業と京都芸術大学の産学連携プロジェクト第3弾 最終審査を経て、押し活、サウナ、アイデア商品など 学生が考えた案を商品化、来年度から DAISO で発売予定

株式会社大創産業（広島県東広島市 代表取締役社長：矢野靖二、以下「大創産業」）は、学校法人瓜生山学園 京都芸術大学（京都府京都市、以下「京都芸術大学」）との産学連携プロジェクト第3弾として、2023年8月5日に大創産業東京本部で、学生による新商品アイデアのプレゼンテーションと最終審査を行いました。選ばれた作品は、来年度から全国の DAISO で発売予定です。

京都芸術大学プロダクトデザイン学科の2・3年生15人が、「日常生活の中でお客様ニーズを見出した新商品」をテーマに1人50点のアイデアを提出、学内選考で絞り込まれた、押し活やサウナを楽しむための商品、日用品をコンパクトに持ち運ぶアイデア商品などの30点について最終審査が行われました。審査項目は、世の中のニーズを捉えているか、学生らしい視点があるか、既存品になく DAISO の商品として販売できるか、検証データの信憑性などで、審査には、京都芸術大学芸術学部プロダクトデザイン学科 北條崇教授のほか、大創産業商品本部バイヤー、デザイン課から17人が参加しました。



写真左：プロダクトデザイン学科2年 救仁郷（くにごう）さんのプレゼンテーション（右手演台）

写真右：救仁郷さんの初期試作品「ジューペット」



写真左：プロダクトデザイン学科 2 年 鈴木さんのプレゼンテーション  
写真右：初期試作品「ミラーコム」

京都芸術大学 北條崇教授は、「本学は“芸術教育の社会実装”を掲げ多くの企業と産学連携授業に取り組んでいます。その中でも大創産業との取り組みは 3 回目と長く続けさせてもらい資産となっています。さらに大創産業側にメンターとして卒業生がいて、現場（店舗）の生の声などを聞かせてもらえることは貴重で、大変感謝しています。今後も長く続けられたら」と語っています。

参加した学生は、以下のようにコメントしています。「市場のリサーチをすればするほど、差別化が難しいと感じた（2 年生 救仁郷（くにごう）さん）」「ある程度自分が作りたいものを作る自由度があるが、お客様目線かつ価格を合わせていくなかで、魅力を落とさず商品化するのが難しかった。プレゼン先が企業ということで、学内で行うものとは別のアプローチでプレゼンする経験が、2 年生の今できたのは貴重な機会となった（2 年生 鈴木さん）」と話しています。

大創産業商品本部 商品 5 部部長の小池正浩は「今年も学生の皆さんに多くの努力とチャレンジをいただいたことを大変嬉しく感じているとともに、大創産業、バイヤーへもよい刺激をいただき感謝しています。最終選考の作品は、世の中のニーズ、日常生活のストレスなどをしっかり捉え、どう解消するかを考えた多くのアイデアから絞り込まれているだけに、大変精度が高いと感じました」と述べています。デザインが商品に与える付加価値について再認識し、付加価値が高い商品をお客様に提供できることを期待しています。



最終審査では、大創産業のバイヤーから質問やアドバイスも活発に行われた

### ■産学連携プロジェクトの目的と経緯

大創産業と京都芸術大学は、次代を担う学生への実践的な学びの機会の提供と、DAISO 新商品の開発を目的に、産学連携プロジェクトを 2017 年に開始、大創産業商品部と連携しながら、商品の構想、開発、デザインに取り組んでいます。1 回目の 2017 年には 7 点、2 回目の 2021 年には 75 点が商品化されました。これまでの産学連携プロジェクト参加者から 3 人が大創産業へ入社し、店舗運営などで活躍しています。

### ■学校法人瓜生山学園京都芸術大学

12 学科 22 コースからなる国内最大規模の総合芸術大学です。芸術を通して社会に必要な力を育成しています。芸術を学んだ学生が社会を変える「芸術立国」を教育目標に掲げ、通学課程では特に“社会と芸術”の関わりを重視した芸術教育を推進。企業や自治体などが抱える課題を、学生たちがアート・デザインのかで解決する「社会実装プロジェクト」が年間 100 件以上あります。学科を超えたグループワークや実際の仕事を通して、社会性を備えた表現者を育成しています。

学科編成：12 学科 22 コース

在籍者数：3,976 名（芸術学部 正科生、2023 年 5 月現在）

<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

### ■株式会社大創産業について

大創産業は「だんぜん！ダイソー」をスローガンに、生活必需品から趣味趣向品まで生活を豊かにする商品約 76,000 点を取り扱っています。「DAISO」、「Standard Products」、「THREEPPY」を 3 本柱とし、2023 年 2 月現在、日本を含む世界 27 の国と地域に 6,451 店舗展開しています。

（国内 4,139 店、海外 2,312 店。うち、DAISO は国内 3,758 店、海外 2,288 店）

毎月約 1,200 種類の新商品を開発し、売上は 5,891 億円となっています。（2022 年 3 月から 2023 年 2 月末）

所在地：広島県東広島市西条吉行東 1 丁目 4 番 14 号

<https://www.daiso-sangyo.co.jp/>

【一般のお客様からのお問合せ先】

株式会社大創産業 お客様窓口（代表）

TEL: 082-420-0100 9:00~18:00（土・日・祝を除く）

【メディアの方からのお問合せ先】

株式会社大創産業 広報課

E-mail: [grp\\_kouhou@daisojapan.com](mailto:grp_kouhou@daisojapan.com)